

平成22年度 病院経営本部行動計画スケジュール

＜第二次都立病院改革実行プログラム＞

四つの視点

- 1 質の高い医療を提供する医療人材の育成
- 2 医療技術の進歩に対応した医療水準の向上
- 3 医療サービスの充実と患者満足度の向上
- 4 将来にわたり安定的に行政的医療を提供するための体制整備

七つの戦略

戦略1 医療を担う人材の育成と資質の向上

		第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）	22年度目標
「東京医師アカデミー」による質の高い医師の養成						
1	シニアレジデントの研修内容充実	●三期生辞令交付式	●運営委員会	意見交換会の開催	●運営委員会	●運営委員会
3	指導体制の充実強化	指導医向け研修会の検討・実施				●運営委員会
		研修・指導環境の整備		コース別WGの開催		
2	クリニカル・フェローの新設	●PR開始	●フェロー生選考			
4	修了後の進路	クリニカル・フェローの詳細検討				
		アカデミー修了生の都立・公社病院での採用、公的・民間病院等への輩出				
質の高い人材を安定的に確保するための諸条件の整備						
7	医師の勤務体制の検討	役割分担・既存業務の整理について検討				
8	医療クラークの導入	非常勤医療クラークへの切替えによる導入状況の検証				
		〔神経病院・小児総合医療センター〕 医師事務作業補助加算未取得病院の取得に向けた取組				
9,10	看護職員の勤務体制の検討等	多様な交替制勤務の実施・拡大				
		採用体制強化（採用選考回数の増加、人材募集活動強化等）				
11	院内保育室の充実	院内保育室の24時間化等、改善事項等の検討				
		小児総合医療センター開設に伴う多摩キャンパス内の院内保育需要に応えるための方策検討				
12	育児中の職員を対象とした短時間勤務制度の活用	育児短時間勤務制度の活用と職員採用活動におけるPRの実施				
看護キャリアパスによる人材育成及び配置管理						
15	卒後臨床研修	●採用 臨床研修実施	●夜勤開始	研修内容充実等の検討		
		看護アカデミー運用開始				
医療の高度化・専門化に対応できる人材の育成・確保						
22	多様な手法を活用した人材確保策の推進	看護師・助産師採用選考				
		看護師・助産師募集活動（就職説明会、見学会、各種セミナー、学校訪問、広告の活用）				
		キャリア活用採用選考		●庁内職員公募	●公募職員配属者の確保	

戦略2 医療の質の向上と患者サービスの充実強化

		第1四半期（4～6月）	第2四半期（7～9月）	第3四半期（10～12月）	第4四半期（1～3月）	22年度目標
質の高い医療の提供						
24	臨床評価指標（クリニカルインディケーター）の導入	墨東病院：HP公開、試行状況の確認		2年目以降の改善に向けた検討		
		その他病院：墨東病院での施行状況を踏まえ、病院独自項目の検討、ホームページでの公開に向けた検討				
28	クリニカルパス活用の推進	●パス委員会	●パス委員会	●パス委員会	●パス委員会	
		地域連携パス先行病院（広尾・墨東・多摩）の課題検証				
		他病院での検討・調整・導入				
29	NST（栄養サポートチーム）活動の推進	外来NST活動の実施方法について、栄養科長会で検討				
31	検体検査業務体制の強化	検査科技師長会において、検査技師の育成、経営効率の向上など具体的な対応策の検討				
		「臨床検査マネジメント指針」（21年3月発行）に基づく検査の標準化の推進				
		各病院検査科の連携体制の構築のため、感染症緊急検査・生理検査等の充実化の検討				
32	診療放射線部門の強化	駒込病院をステーションとしたマンモグラフィのプレ読影研修の実施				
		広尾、大塚、墨東、多摩総合での体制整備、プレ読影の実施				
		CT、MR部門の読影能力向上のため、画像診断研修の実施				
治験・先進医療等への取組						
35	先進医療の実施	各病院からの申請に基づく先進医療の選定・検討・実施				

「東京ER」の充実強化									
36	来院患者の診察前トリアージの充実強化	●トリアージマニュアル策定（広尾）							○広尾以外の墨東・多摩において、救急トリアージ実施に向けた取組を推進。
		救急トリアージマニュアル実施に向けた取組に関する課題・問題点の整理（墨東、多摩）							
医療安全管理対策の充実強化									
39	インシデント・アクシデント・レポートの周知徹底と再検討	21年度に医師、専任リスクマネージャーらで作成した様式改定案を事務局で精査	●予防対策部へ報告	●医療安全推進委員会へ報告	新様式の事前周知・集計ソフト改修委託				○インシデント・アクシデント・レポート様式を改定し各病院へ事前周知。 ○収集したデータの活用策の検討。
44	医薬品の安全管理対策の拡充	抗がん剤ミキシングの体制の整備、充実、強化 ハイリスク薬の服薬指導・疑義照会を活用した医療安全対策の充実の検討							○薬剤科での抗がん剤ミキシング体制の強化。 ○薬剤師が行う服薬指導や疑義照会等業務の安全面からの強化。
医療情報提供の推進									
45	診察、医療費に関する情報提供	領収書の医療費内訳明細書の希望者への無償発行の継続 医事会計システム更新、自動清算（支払）機への発行機能付与による医療費内訳明細書の全件発行実施							○問診票のデータ化、病院ホームページへの掲載の検討。 ○医療費内訳の分かる明細書の無償発行の継続。
患者サービス向上のための取組の充実									
48	「患者相談センター」の設置	●PT設置	大塚病院「患者相談室」の状況確認、他病院への拡大可能性の検討	他病院調査、システムとの調整					○相談センターの機能を充実させるため、医療従事者の情報共有の仕組みを作る。 ○OMSWの電子カルテへの記載について、電子カルテ記載実例の調査、書式・テンプレートの試作、記載ルールの検討、研修。
50	児童虐待・DV（家庭内暴力）等への組織的な対応	児童相談センター・女性相談センター・高齢社会対策部に研修依頼、研修実施 地元関係機関と協力し勉強会、研修会の実施							○各病院において要綱に基づき、組織として適切に運用。 ○関係機関との交流により虐待事案に迅速かつ適切に対応。
医療連携等の推進									
57	各種ネットワーク事業への参画・支援（疾病課題別医療連携の推進）	福祉保健局の事業展開の注視と情報収集、病院への情報提供と調整							○各病院の特性に合わせ、脳卒中、糖尿病等の各種ネットワークに参加。
57-2	がん医療対策の推進 〔駒込病院〕 〔多摩総合医療センター〕	「がん診療連携協議会」運営、4部会での検討、地域連携クリティカルパスの試行等 都認定病院の院内がん登録データの収集、精度管理等 院内がん登録の推進、相談支援センター等院内体制充実							○都道府県拠点病院の駒込病院は、新たに「がん登録センター」として運営を開始、院内がん登録の推進、医療機関への支援等を実施。 ○多摩総合医療センターは「東京都認定がん診療病院」として機能整備し、多摩地域のがん医療の拠点的な病院として高度ながん医療を提供。
	小児救急医療体制の強化 （小児医療ネットワーク事業への参画等）	小児総合医療センターにおける体制整備・安定的運営、各種ネットワークへの参画 小児病院移転後の医師の派遣等、地域の小児医療体制への支援							○重篤な小児救急患者の救命治療を速やかに行う「こども救命センター」を小児総合医療センターに創設。 ○多摩小児医療ネットワーク事業への参画。
	周産期医療体制の強化	大塚病院：「産科医療連携協議会」、地域との連携モデル事業の実施 多摩総合、小児総合医療センター：総合周産期母子医療センターの円滑な運営 墨東病院：「NICU退院児支援モデル事業」の円滑な実施							○大塚病院：総合周産期母子医療センターの安定的な運営。 ○多摩総合医療センター、小児総合医療センター：総合周産期母子医療センターの円滑な運営。 ○墨東病院：「NICU退院児支援モデル事業」の着実な実施。
都立病院ネットワーク機能の強化									
61,62	都立病院間のネットワーク機能の強化 都立病院と公社病院との医療連携体制の強化	脳外科・循環器科以外の診療科における各診療科連絡会の設置促進 新統合院内LANを活用した医師プロフィール等データベースの構築、運用体制の整備 都立・公社病院共同の臨床研究事業の実施方策の検討							○診療科連絡会の設置、拡充。 ○各病院の持つ高度な医療機能や医療資源を病院間で相互利用するためのデータベースの構築。 ○公社病院との臨床研究を通じた連携の検討・実施。
62-2	都立病院と公社病院との医療連携体制の強化（2）	都立・公社病院の連携策に関する詳細検討・実施 小児医療ネットワークの構築に向けた検討							○「都立・公社病院連携推進協議会」等を活用し連携策の検討・実施。 ○小児医療ネットワークの一つとして、小児総合医療センター及び多摩北部医療センターにおける連携モデル事業の実施。
省エネルギー対策等の推進									
63	省エネルギー対策の推進 〔環境確保条例改正への対応〕 〔ESCO事業導入効果検証〕 〔省エネ東京仕様2007への対応〕	条例改正による新制度に対応するための関係部局、関係部局等との調整 地球温暖化計画書の検討・作成 ●提出 広尾・大塚・墨東病院において効果検証、必要に応じ既存施設の老朽化対策実施 「省エネ東京仕様2007」を適用した項目の把握、省エネ効果の検証							○環境確保条例改正に基づく温室効果ガス排出量総量削減義務制度への積極的な対応。 ○ESCO事業の導入効果の検証。 ○「省エネ東京仕様2007」を適用した施設整備・改修の実施と効果の検証。

戦略3 災害対策・感染症対策の強化

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
災害対策						
68	施設及び備蓄品の整備	災害用資器材の備蓄品目について検証・備蓄品の有効活用の検討				○災害時医療提供体制確保のための備蓄品等の整備。
70	診療科別医療救護班の整備	病院再編に伴う出動可能数変更の検討 各病院で派遣可能な診療科の選定・決定、条件整備 医療救護班の円滑な出動に関するガイドラインの検討・作成				○診療科別医療救護班を設置し、体制整備を実施。 ○医療救護班の出動に関するガイドラインの策定。
71	研修及び訓練の充実	全都立病院におけるトリアージ基礎研修実施・検証 ●管理監督者研修 ●指導者養成研修 ●病院経営本部 総合防災訓練 専門的訓練プログラム検討・具体化・実施				○都立病院医療危機管理ネットワーク運用委員会の災害訓練・研修部会で策定した研修体系プログラムに基づく研修実施。 ○より専門的な訓練プログラムを検討し、訓練体制を充実。
感染症対策						
78	施設及び備蓄品の整備	個人防護服整備の検討				○「医療資器材3カ年整備計画」に基づいた個人防護服等の検討・整備 ○多摩・小児の開設等を踏まえた「都立病院新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」の改定。 ○21年度に策定した「都政のBCP(新型コロナウイルス編)」に基づき、病院経営本部BCP、各病院BCPを策定。
79	感染制御チームの設置	「都立病院新型コロナウイルス感染症対応マニュアル」改定				
80	訓練及び研修の充実	病院経営本部BCPの策定				
		各病院BCPの策定・職員研修の拡充、実施				

戦略4 再編整備と医療機能の強化

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
—	救急・災害医療センター(広尾病院)	ライフライン強化のための改修工事、災害時医療体制の充実策の取組実施				○「救急・災害医療センター」としての災害時医療体制の充実。
—	母子・リウマチ医療センター(大塚病院)	安定的運営の確保 小児総合医療センターとの連携体制の構築による安定的な運営 大規模改修可能性調査(20年度)を踏まえた設備改修実施計画(5年程度)の策定				○総合周産期母子医療センターとして周産期医療の安定的運営。 ○二次救急患者の受け入れ能力の拡充。 ○大規模改修可能性調査結果を踏まえた設備改修実施計画の策定。
—	がん・感染症医療センター(駒込病院)	SPCによる維持管理・運営業務の実施、モニタリング実施 改修工事Step3(現2号館建物改修)、モニタリング実施 ●移転 改修工事Step4~、モニタリング実施				○SPCによる維持管理・運営業務の円滑な運用。 ○病院本館の改修工事の安全かつ適切な工程管理。 ○2号館への移転業務の円滑な実施。
—	救急・総合医療センター(墨東病院)	感染症病棟等新棟・診療棟の基本設計 安定的運営の確保、医師会・地域医療機関等との連携強化				○東京都地域医療再生計画に基づく機能拡充を図る新棟・診療棟の基本設計の実施。 ○総合周産期母子医療センターとして周産期医療の安定的運営。
—	脳・神経難病医療センター(神経病院)	基本計画策定に向けた検討・調整				○「脳・神経難病医療センター」整備に向けた基本計画策定。
—	精神医療センター(松沢病院)	建設工事・運営業務に関する検討、モニタリング実施、電子カルテ導入協議(都側) 設計協議・整備工事				○23年度運営開始に向け、建設工事の安全かつ着実な施工。 ○運営業務に関する業務内容の検討、人員計画の策定。 ○財産処理に伴う外構整備工事の一部施工。(公園、周回歩道)

戦略5 IT化推進と情報セキュリティ対策の強化

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
電子カルテシステム等の新たな展開						
85	新たな電子カルテシステム等の導入拡大	大塚病院: 新たな電子カルテシステム稼働に向けた準備(研修・リハーサル等) ●稼働				○大塚、墨東病院: 電子カルテシステム稼働。(新バージョン) ○駒込病院: 病棟改修に対応した大規模移設の実施。 ○松沢病院: 電子カルテ導入に向けた検討。 ○都立病院間の診療情報の相互参照について運用方式等を検討。
86	都立病院間の診療情報参照	墨東病院: 新たな電子カルテシステム稼働に向けた準備(研修・リハーサル等) ●稼働 駒込病院: 電子カルテ稼働準備・移設 松沢病院: 電子カルテ導入検討準備 ●ワーキンググループによる検討 電子カルテ参照: 運用方式検討 ●要綱類策定、運用準備				
ITの活用による患者サービスと業務の改善						
87, 90	病院運営に係る(診療情報管理システムの導入)	ソフト選定、契約 ●導入(小児総合医療センター)				○小児総合医療センターに診療情報(レセプトデータ)管理システムを導入。
92	システム機能の導入(歯科レセプトの電子化)	各病院へ順次導入				○全病院で歯科レセプトを電子化しオンライン請求実施。
88, 89, 91	患者サービス向上のための機器・設備の導入	デジタル掲示板、ベッドサイド端末等について市場調査、製品調査				○患者サービス向上のための機器・設備の調査及び導入検討。
情報セキュリティ対策の充実強化						
94	情報セキュリティ評価・自己点検の充実	●情報セキュリティ責任者任命 監査内容等の見直し ●外部監査契約 ●外部・内部監査実施 ●監査結果書作成 ●個人情報管理チーム巡回点検 ●個人情報管理チーム巡回点検 ●全職員対象自己点検 ●個人情報管理チーム巡回点検				○評価・点検活動を引き続き実施し、情報セキュリティ水準を継続的に向上。
95	職員の情報セキュリティやITに対する知識のレベルアップ	●ITリーダー説明会 ●情報処理技術者試験 ●ITリーダー説明会 ●外部講師によるセミナー 情報セキュリティ・個人情報管理研修(必修) 専門研修機関への派遣(時期は任意)				○研修や各種セミナー実施により、職員の情報セキュリティやITに関する知識を向上。
96	個人情報保護及び情報セキュリティ委員会等の充実強化	●個人情報保護及び情報セキュリティ委員会 ●個人情報保護及び情報セキュリティ委員会 ●個人情報保護及び情報セキュリティ委員会 ●個人情報保護及び情報セキュリティ委員会 各病院の委員会の活動状況、課題等の把握 ●各病院の委員会と本部セキュリティ委員会の連携に向けての準備				○本部情報セキュリティ委員会を開催し本部内の情報セキュリティ対策の推進。 ○各病院の委員会との連携体制の構築。
98	都立病院院内LAN統合データセンターの構築・運用による情報セキュリティ対策の強化(院内LAN(研究系ネットワーク)の改善)	ネットワーク引直し(広尾、大塚病院) ●病院サーバ増設 インターネット出入口でのセキュリティ対策強化 ●その他機能拡張により、データを持ち歩かない運用の試行				○各病院が独自に構築・運用している院内LANを本部で管理し、情報セキュリティ水準を向上。

戦略6 経営力の強化

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
経営管理の取組						
99	都立病院経営委員会		●経営委員会		●経営委員会	○「第二次都立病院改革実行プログラム」の進行管理。
101	バランス・スコアカード(BSC)等の活用による経営管理 〔業績評価〕	●病院プレゼンテーション ●副院長ヒアリング インセンティブの検討	●目標値決定 ●第1四半期集計 ●21年度実績評価	●副院長ヒアリング ●第2四半期集計 ●上半期実績評価	●第3四半期集計 23年度DPCの検討	○「第二次都立病院改革実行プログラム」の進行管理。 ○OBSCによる適切な経営管理の継続。 ○病院業績評価がより効果的なものとなるよう、より効果的なインセンティブを設定。
経営の効率化及び経営分析力の向上						
102	病床運用の効率化等による収益の確保	●副院長ヒアリング 病床利用率以外の管理指標の検討・収益確保に向けた病院への働きかけ		●副院長ヒアリング		○新入院患者の維持・増加に努め、入院収益を増加。 ○新来患者の増加に努めるとともに、DPCに対応した検査の外來化等による収益の確保。
107	迅速かつ精緻な経営分析		院内研修体制の強化等によるDPC分析体制の強化・分析発表会の実施 物流管理・疾病別原価計算システム開発に関する検討			○新DPC分析ツールを用いた分析の強化。 ○疾病別(DPC別)原価計算手法の検討。
未収金対策の強化等						
109	未収金対策の強化		未収金業務マニュアル(19年度末策定)の改正 派遣委託契約準備	本部に加えてER3病院に派遣職員を配置し回収を強化		○未収金回収体制をさらに強化し、回収努力の向上に努め、未収金発生率を4.0%以下とする。

戦略7 都立病院の新たな経営形態の検討

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
都立病院の新たな経営形態の検討						
111	都立病院の新たな経営形態の検討	国、他自治体など情報収集、動向分析、内部検討				○経営形態に関する検討を継続的に実施。

(財)東京都保健医療公社の自律的な運営

		第1四半期(4~6月)	第2四半期(7~9月)	第3四半期(10~12月)	第4四半期(1~3月)	22年度目標
(財)東京都保健医療公社の自律的な運営等						
		年間を通じた「公社活性化プランII」の進行管理 ●年度運営方針協議 ●経営目標協議 ●経営目標決定 ●経営目標達成状況進行管理 医療機能の見直しの方向性検討 医療機能の見直しに関する具体的取組事項の検討・実施等の進行管理 ●7対1看護体制導入(多摩北部) ●地域医療支援病院承認(豊島) 法人形態の検討状況の進行管理				○年間を通じて「公社活性化プランII」に基づき、年度運営方針の協議や経営目標の策定、これらの達成状況を進行管理。 ○医療人材の確保定着対策(7対1看護の拡充等)、医療需要調査結果に基づく医療機能の見直しの方向性と実施状況の進行管理。 ○公社事務局と本部との明確な役割分担のもとでの工事等の確実な実施。